

硝子体可視化剤

主たる提供特許	出願者	国立大学法人長崎大学
	題名	硝子体可視化剤
	番号	特許第4872076号

副作用のない硝子体腔内投与可視化剤

技術概要

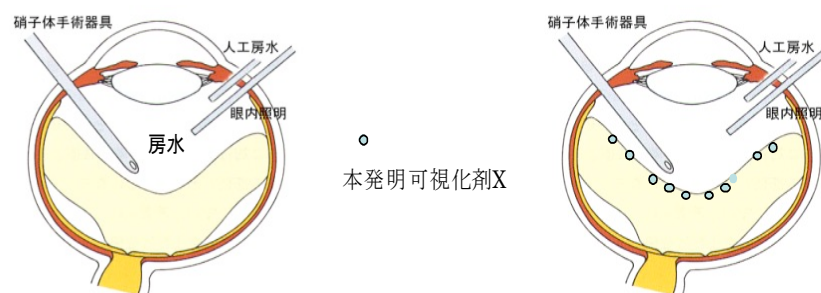
発明の背景

1) 硝子体切除術は、多くの眼疾患を治療する上で不可欠な手術ですが、透明な硝子体を見極めながら切除するため、熟練を要する上、いかに硝子体を残さず切除するかが問題となる局面が多く、難易度の高い手術でした。

2) 近年、硝子体手術を容易にする為に、ステロイド製剤であるトリアムシロンアセトニドを硝子体腔内に投与して硝子体を可視化する技術が普及し始めていますが、この薬剤は、**副作用も多く、特に眼圧上昇と易感染性が問題**となっています。

発明概要

- ・本技術は、ある可視化剤Xを、硝子体腔内に投与して、硝子体を可視化する技術です。
- ・本技術の利用により、これまで**熟練を要した手術が容易**になり、従来の可視化剤のような眼圧上昇等の副作用を起こすこともなく、**安全な硝子体切除術**が実現します。



硝子体可視化剤の原理

応用分野

実用化例

- ・硝子体切除術時の手術補助剤
(糖尿病網膜症、網膜剥離、加齢黄斑変性、白内障手術、緑内障手術、眼内レンズ挿入術、眼内レンズ逢着術等)
- ・硝子体可視化用キット

実用化可能性

- ・本可視化剤は安全性が高く副作用もないため、実用化の可能性は高いと考えられます。

実用化に向けた課題

動物実験に於いて有効性及び安全性が確認されていますが、将来の臨床試験に向けて、GLP試験における安全性試験の確認が必要です。

企業へのメッセージ

本発明可視化剤により、安全で容易な手術を実現できます。